

質 疑 ・ 質 問

厳しい財政下での市政を問う

■ 主な質問項目 ■

1 向井敏憲議員

- ①市長の政治姿勢
- ②行政改革
- ③財政問題
- ④治水対策
- ⑤限界集落問題
- ⑥まちづくり

2 後藤武薫議員

- ①財政問題
- ②防災対策
- ③農業振興
- ④福祉問題
- ⑤図書館整備

3 梅木良照議員

- ①地デジ共同受信施設改修への対応
- ②次世代高速無線通信
- ③ふるさと納税
- ④人事評価システム
- ⑤限界集落対策

4 上田栄一議員

- ①山間地生活環境維持対策
- ②東大洲拠点地区のインフラ整備
- ③大洲の観光
- ④支所・連絡所人員配置の平準化
- ⑤長寿医療（後期高齢者医療）制度
- ⑥土地開発公社経営健全化計画
- ⑦大洲市公共下水道事業

5 中野寛之議員

- ①N T T 社宅跡地購入事業費
- ②大洲城天守閣
- ③東大洲地区大規模店舗新規出店
- ④大洲病院の法令遵守
- ⑤学校教育

6 宮本増憲議員

- ①公債費及び合併特例債
- ②道路特定財源
- ③土木費
- ④災害情報メール
- ⑤県道藤縄長浜線
- ⑥その他市政

7 安川哲生議員

- ①山鳥坂ダム事業
- ②税制改正
- ③財政状況
- ④学校教育

8 西村豊議員

- ①防災行政無線整備事業
- ②生活保護対策
- ③過疎集落対策
- ④地産地消運動
- ⑤放置竹林対策

9 柘田和美議員

- ①過疎集落
- ②子どもの安全・安心対策
- ③住宅用火災警報器・火災報知器

10 武田雅司議員

- ①財政問題
- ②環境問題
- ③水と緑のネットワーク整備事業
- ④全国学力・学習状況調査

11 山本光明議員

- ①財政
- ②税務行政
- ③農林行政
- ④借地（家）施設
- ⑤愛媛県地方局3局体制

12 有友正本議員

- ①財政問題
- ②土地開発公社経営健全化計画
- ③肱川水系河川整備計画
- ④福祉問題
- ⑤その他市政

13 大野新策議員

- ①合併後3年の評価
- ②大型産直市計画と商店街の活性化
- ③長寿医療（後期高齢者医療）制度と福祉施策
- ④県地域ケア体制整備構想
- ⑤ワンコインバスの運行
- ⑥山鳥坂ダム建設問題
- ⑦小学校統廃合問題

当初予算

問 編成方針について

答 地方財政を取り巻く厳しい環境のもと、本市の財政状況から財政健全化を目指すことが最も重点を置くべき課題であると考へており、平成17年度に策定した行政改革大綱等による聖域を設けない歳出削減などによる取り組みを行いながら、集中改革プランに基づき、敬

老年金の廃止などの見直しを行い、乳幼児医療費助成や妊婦健診の公費負担の拡大を図るなど少子化対策に取り組み、選択と集中による予算編成にしました。また、新図書館の建設事業を進めるとともに、新規事業として防災行政無線整備事業など各分野における新たなまちづくりのための予算にも配慮をして編成しました。

今年度から普通建設事業等や年間を見通した各種事務事業を可能な限り当初予算に一括して計上するとういよう予算編成の集中化を促進し、事務効率等の改革を図っています。

財政状況

問 平成19年度決算の主要指標見込みについて

答 実質公債費比率については、公債費負担適正化計画のとおり、平成18年度決算数値の22・8%を若干下回る22・7%程度を見込んでおり、地方債残高は、普通会計で平成18年度より約21億4,000万円減となる331億8,000万円程度を見込んでいます。

また、地方債償還金のピークは平成18年度となっており、平成21年度に特殊要因により一時的にふえるものの、今後年々減少していく見込みです。

積立金残高については、基金全体で36億4,000万円を見込んでおり、その中でも財政調整基金については、平成19年度末では約3億円の残高となる見込みです。また、経常収支比率は、平成18年度決算値の95・8%を若干下回る程度を見込んでいます。